

『北海道クルーズ・旅客船メールマガ』は、クルーズ振興が海事振興にとどまらず、地域振興、観光振興にも寄与することから、クルーズ情報に限らず、フェリー・旅客船に関する情報や一般海事情報、地域観光情報等も含め、幅広くご提供したいと考えております。

<目次>

1. 情報：震災と台風の影響が大きかった一年
～2018年の北海道へのクルーズ船寄港数速報～
2. 稚内：海運を学び、船員の仕事を知る
～稚内南中に出前講座 フェリー船員の一日～
3. 情報：「フネージョ」って知っていますか？
～海事産業における女性の活躍を応援！～
4. 情報：来年も北海道へたくさんのクルーズ船が寄港します
～2019年の寄港スケジュールをご紹介します～
5. 情報：「クルーズなんでも屋」vol.44！
～島々が集まる祭典「アイランダー2018」～
6. 事務局からのお知らせ

1. 情報：震災と台風の影響が大きかった一年
～2018年の北海道へのクルーズ船寄港数速報～

今年の北海道各港へのクルーズ船の寄港については、8月1日現在の情報では109隻を予定しておりましたが、相次いで北海道に上陸した台風や9月6日に発生した北海道胆振東部地震の影響等によるスケジュールの変更があり、最終的には昨年より5隻少ない101隻（速報値）の寄港にとどまりました。

昨年よりも寄港数が少なくなりましたが、プリンセス・クルーズ（米国）が運航する「ダイヤモンド・プリンセス（11万5,875トン）」が、被災した北海道を応援するため、復興支援の横断幕を掲げて函館、釧路、小樽の各港に入港するという、よろこばしい出来事もございました。

11月1日に室蘭港へMSCクルーズ（伊）が運航する「MSCスプレンドイダ（13万7,936トン）」が寄港したのを最後に、今年の寄港シーズンは終了しましたが、来年も北海道へたくさんのクルーズ船が寄港し、各港で地元ならではの趣向を凝らしたおもてなしが行われる予定ですので、ぜひ一度、クルーズ船のお出迎え・お見送りを体験してみたいかがでしょうか？

今年のクルーズ船の寄港実績や実施されたイベントは北海道クルーズ振興協議会のホームページをご覧ください。（現在は11月1日現在の情報を掲載中、今後、今年度の確定版を掲載予定）

クルーズ客船寄港情報

http://wwwtb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise2_2018_11_yotei.pdf

<問い合わせ先>

北海道クルーズ振興協議会 事務局
北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 武部
mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp

2. 稚 内：海運を学び、船員の仕事を知る ～稚内南中に出前講座 フェリー船員の日～

稚内市は、利尻島・礼文島との交通の拠点であり、海事産業と深い関わりがあります。

そこで北海道運輸局では、ハートランドフェリー株式会社の協力により、稚内市立南中学校の生徒を対象に海上輸送の現状やフェリーの役割やそこで働く船員の仕事について学んでもらうための出前講座を11月10日(土)に実施しました。

稚内市内の中学校が実施している土曜授業との連携による初めての開催です。

生徒からは「普段、あまり考えていないことがわかって良かった」「海に興味を持てるようになりました」などの感想を頂きました。また、校長先生からは「興味を持って聞いていたようなので進路へつなげてほしい」というコメントを頂きました。

北海道運輸局は今後も教育機関と連携し、それぞれの地域に合ったテーマでこのような取組みを継続してまいります。

出前講座の実施概要については、北海道運輸局のホームページをご覧ください。

○若年内航船員確保推進事業(海事海洋教育)のページ

http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/seninkakuho/301110_wakkanai2.pdf

<問い合わせ>

北海道運輸局旭川運輸支局(稚内庁舎)永井、菊池

<mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp>

3. 情 報：「フネージョ」って知っていますか？ ～海事産業における女性の活躍を応援！～

皆さんは「フネージョ」という言葉をご存じでしょうか？
船員や造船・船用工業等の海事産業分野で働く女性を幅広く象徴する造語なので、耳慣れない言葉ではないかと思えます。

四面を海に囲まれた海洋国である日本において、海事産業は我が国の経済及び国民生活に大きな役割を果たしており、その持続的な発展には、優秀な人材の活躍が必要不可欠であり、女性が活躍できる仕事も多くなります。

しかしながら、船員や造船・船用工業等の世界は、男性中心の仕事で、身体的負担の大きい作業が多いとのイメージが定着していることもあり、業界の女性人口は他の製造業や建設業に比べて低い状況です。

このような状況を改善し、海事産業における女性活躍を一層推進することを目的として、国土交通省は、海事産業における女性(フネージョ)の活躍を応援する「輝け！フネージョ プロジェクト」を本年4月から開始しました。

女性活躍に積極的に取り組んでいる海運・造船・船用工業事業者や、それら海事産業界で活躍する女性の声を紹介する「海事産業における女性活躍推進の取組事例集」を作成したり、各地で海事産業の女性達による座談会を開催する等、プロジェクトが進行しております。

北海道においても、今年度中に座談会を行うことを計画しており、開催の様子について本紙面でご紹介したいと考えております。

「海事産業における女性活躍推進の取組事例集」は下記のリンクからご覧ください。

○海事産業における女性活躍の取組事例集（国土交通省ホームページ）
http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk5_000060.html

<問い合わせ先>
北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 武部
<mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp>

4. 情 報：来年も北海道へたくさんのクルーズ船が寄港します ～ 2019年の寄港スケジュールをご紹介します～

例年、この時期には各クルーズ船社から次年度の運航予定が発表されますが、ここでは2019年度に北海道へ寄港予定のクルーズの一部をご紹介します。

にっぽん丸
今年は夏にも金沢や新潟発着で礼文島、利尻島、奥尻島を訪れる予定の**にっぽん丸**。
大人気の「飛んでクルーズ北海道」は来年も5コース催行され、「知床・羅臼ダイニング」も羅臼町の皆さまのご協力で来年もオープンする予定です。
また、小樽発着でコルサコフを訪れる「初秋のサハリンクルーズ」も1コース催行されます。
詳細は**にっぽん丸**のホームページのパンフレットをご覧ください。

（にっぽん丸ホームページ）
<http://www.nipponmaru.jp/>

ばしふいっくびいなす
道内発着のコースは、小樽発着の「花と緑の利尻島・礼文島クルーズ（小樽発）」の1コースのみですが、6月には「青森・小樽ワンナイトクルーズ」「小樽・横浜ゆったり2Nightクルーズ」「北海道 釧路・三陸クルーズ」、8月から9月には「北海道 釧路・十勝クルーズ」「秋の北海道 釧路クルーズ」「秋の北海道 函館クルーズ」が予定されています。
また、「秋の日本一周クルーズ」では岩内港に初寄港する予定となっております。
詳細は**ばしふいっくびいなす**のホームページのパンフレットをご覧ください。

（ばしふいっくびいなすホームページ）
<http://www.venus-cruise.co.jp/>

飛鳥
横浜発着の「夏の北海道クルーズ」では小樽、稚内、網走、函館の各港をめぐる予定です。
横浜発着の「夏の函館・伏木クルーズ」では函館開港160周年と飛鳥クルーズ100回寄港を記念する記念イベントが開催される予定となっております。
詳細は**郵船クルーズ**のホームページのパンフレットをご覧ください。

（郵船クルーズホームページ）
<https://www.asukacruise.co.jp/>

2019年度新規寄港予定
世界で最も有名な豪華客船「クイーン・エリザベス（9万0,900ト）」がいよいよ北海道へ寄港いたします。

4月21日に函館、5月8日に室蘭へ初寄港しますので、「海の女王」と呼ばれる豪華客船「クイーン・エリザベス」を一目見に行かれていますかでしょうか。

その他の初寄港としては、アザマラ・クラブ・クルーズの初の自社運航による日本発着クルーズで「アザマラ・クエスト（3万0,277ト）」が4月16日に函館に、全室スイートルーム仕様の「シルバー・ミュージック（4万0,700ト）」が4月27日に函館に、ホーランド・アメリカ・ラインが初めて夏に実施する横浜発着クルーズで「マースダム（5万5,575ト）」が8月11日に小樽、8月12日に函館に寄港する予定となっています。

今回は現在、確定している情報をいくつかご紹介させていただきましたが、2019年度の寄港情報がまとまりましたら、またこの紙面でご紹介させていただきます。

<問い合わせ先>
北海道クルーズ振興協議会 事務局
北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 武部
mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp

5. 情報：「クルーズなんでも屋」vol.44！ ～島々が集まる祭典「アイランダー2018」～

以前VOL.154では、北海道札幌市内で食べることのできる離島の「島味」についてご紹介しました。今回は、去る11月17日～18日東京で開催された全国の島々が集まる祭典「アイランダー2018」について紹介したいと思います。

「アイランダー」は離島地域の活性化を図ることを目的に、毎年11月に開催されるイベントです。全国の島が一体となって、島の持つ自然・歴史・文化・生活などのすばらしさをアピールし、交流人口の拡大、U・I・Jターンの促進を図り、離島地域の活性化を繋げる目的で行う「離島」と「都市」との交流事業です。

北海道では、今年も5島の自治体が参加し、例えばオロロン島やウトウをはじめとする「海鳥たちの楽園」「天売島」と高山植物や原生花が咲く「羊たちが戯れる原生の森」「焼尻島」等々島の自然・文化などを大いにPRしたとのこと。

また、「島味」についても、会場内に設けられた島のグルメ食堂コーナーにおいて、各島の料理を移動型キッチンカーで提供したとのこと。

イベント開催の状況は、アイランダーを「知る」「楽しむ」として専用のホームページで紹介されています。

是非、今後の「島旅」、「島味」の参考としてご覧下さい。
<http://www.i-lander.com/2018/index.html>

クルーズなんでも屋は、クルーズに関する「よもやま話」を取り扱うお店です。

疑問に思ったこと、困ったこと等、何でもお聞かせ下さい。
皆様から数多くの投稿をお待ちしております。

「クルーズなんでも屋」へのご投稿は、こちらまで

mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp

6. 事務局からのお知らせ

1
クルーズ寄港情報や過去のメールマガジンについては、北海道クルーズ
振興協議会のホームページをご覧ください。
<http://wwwtb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise1.html>

2
購読新規登録はこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13_1.html

3
登録変更・解除はこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13_2.html

北海道クルーズ振興協議会 事務局
国土交通省 北海道運輸局 海事振興部
旅客・船舶産業課 武部 千穂
TEL:011-290-1011 FAX:011-290-1021
mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp
.....